

第25回 北海道クラブバレーボール連盟 北海道コカ・コーラ杯争奪選手権記念大会

開催日：2017年9月9日～10日
会場：芽室町総合体育館、清水町体育館

大 会 委 員 長
競 技 判 務 員
審 判 員
総 務 員
長 官
長 官
長 官
一 志 理 勉
幸 篤 真
野 瀬 佐 唯
沓 瀨 佐 唯
沓 瀨 佐 唯

●女子予選グループ戦 (9月9日)

グループ	順位	チーム名 (所属)	対戦相手	スコア
【Aグループ】	1	S I L V E R (道央)	25 - 22	0
	2	岩見沢優光クラブ (道央)	25 - 15	0
	3	t r u s t (道東)	25 - 12	1
	4	W I T H ☆ A . S (道央)	21 - 25	1
【Bグループ】	5	p a l l a v o l o (道央)	25 - 20	1
	6	U N I O N (道東)	22 - 25	1
	7	アイ・ディー・エフfemme (道央)	15 - 9	1
【Cグループ】	8	R o u g h (道央)	25 - 21	0
	9	TEAM-WORK (道北)	25 - 7	1
	10	弥生クラブ (道南)	12 - 25	0
	11	D E V I L K I N (道央)	15 - 12	0
【Dグループ】	12	C O L O R B A L L (道東)	25 - 17	1
	13	U N I T Y (道央)	21 - 25	1
	14	北海道 V-spirit (道央)	15 - 5	1

●男子予選グループ戦 (9月9日)

グループ	順位	チーム名 (所属)	対戦相手	スコア
【Eグループ】	1	札幌国志会倶楽部 (道央)	25 - 12	0
	2	S W A T T (道央)	25 - 9	0
	3	えりもクラブ (道央)	25 - 12	0
	4	R U B I K ' S C U B E (道東)	25 - 17	0
【Fグループ】	5	A w a k e (道央)	25 - 11	0
	6	B L U E S T A G E (道央)	25 - 16	0
	7	大洋部品 (道東)	25 - 23	0
【Gグループ】	8	S - P r o u d (道央)	25 - 15	0
	9	R U B I K ' S C U B E Jr (道東)	29 - 27	0
	10	m a g i c (道央)	-	-
	11	T V C (道央)	25 - 20	1
【Hグループ】	12	S I L V E R (道央)	26 - 28	1
	13	S P R 2 0 1 1 (道央)	15 - 9	2
	14	-	-	-

A,B,Cコート 芽室町総合体育館 D,Eコート 清水町体育館

- シードチーム
女子 第1シード アイ・ディー・エフfemme 第2シード 北海道V-spirit 第3、4シード 岩見沢優光クラブ、Rough
男子 第1シード TVC、第2、3シード RUBIK'S CUBE、大洋部品
は予選グループ抽選時に別グループに振り分けず。
- シードチームは予選グループ戦初戦に敗退した場合は決勝Tでシードされません。その場合、シードの繰り上げは行わず当該シード位置がフリーとなります。
- 3チームの予選グループ戦は、グループ内の最初の対戦の負けチームともう1チームが対戦し、2敗のチームが出た時点でもう1試合は実施しません。
3チームの予選グループで3チームの勝敗が1勝1敗で並んだ場合は、以下で順位を決定します。
①セット率 ②得点率

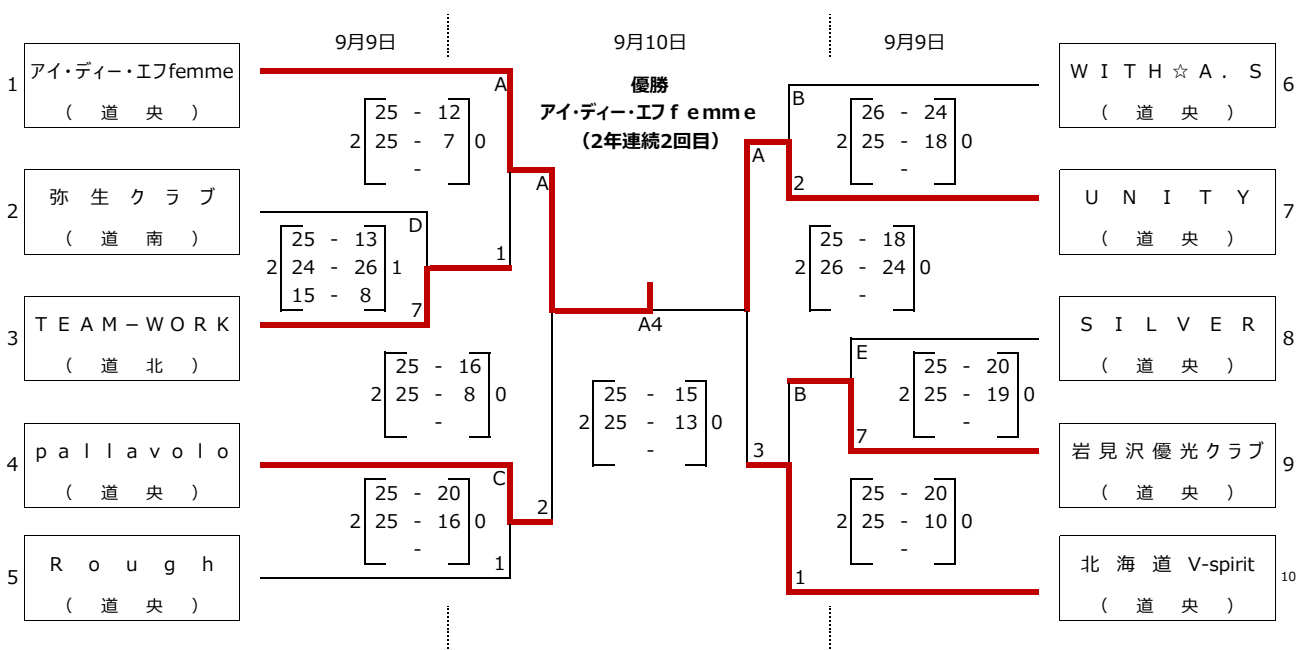
第25回 北海道クラブバレーボール連盟 北海道コカ・コーラ杯争奪選手権記念大会

開催日：2017年9月9日～10日
会場：芽室町総合体育館、清水町体育館

大会委員長 長瀬 幸一
競技委員長 沢 古 幸
審判委員 佐 藤 眞
総務委員 唯 野 勉

大会委員長 長瀬 幸一
競技委員長 沢 古 幸
審判委員 佐 藤 眞
総務委員 唯 野 勉

● 6人制女子決勝トーナメント (9月9、10日)

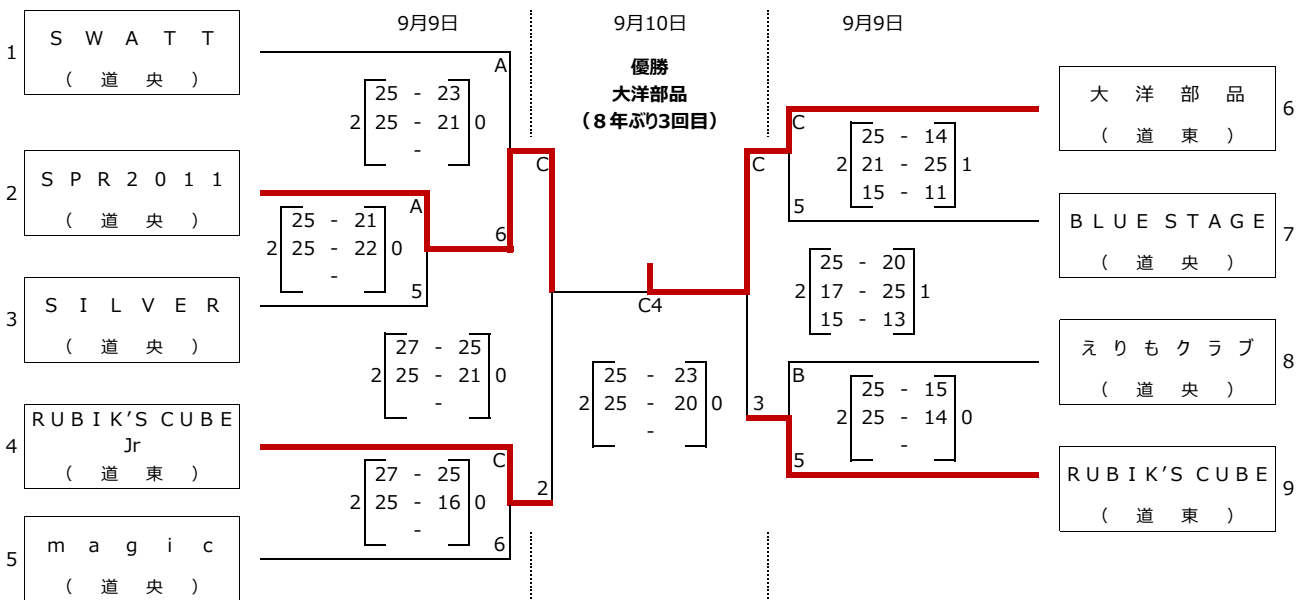


(戦評)

序盤は一進一退の攻防が続いたが、アイ・ディー・エフemmeが6番井上の強烈なスパイクから8連続得点して流れをつかみ、第1セットを先取。第2セットも第1セットと同様の展開になり、後がないUNITYも5番黒田を中心に反撃を試みるが、アイ・ディー・エフemmeが力強いプレーで2年連続2回目の優勝を手にした。

優勝：アイ・ディー・エフemme (札幌市) 準優勝：UNITY (札幌市) 第3位：pallavolo (江別市)、北海道V-spirit (札幌市)

● 6人制男子決勝トーナメント (9月9、10日)



(戦評)

序盤から一進一退の攻防で最後は大洋部品が13番吉田(知)のブロックによる連続得点で第1セットを先取する。第2セットも息詰まる接戦が続くが、終盤、大洋部品が14番小松、16番関山のブロックで突き放し、8年ぶり3回目の優勝を果たした。

優勝：大洋部品 (北見市) 準優勝：SPR2011 (札幌市) 第3位：RUBIK'S CUBE Jr (帯広市)、RUBIK'S CUBE (帯広市)

		6人制女子		6人制男子	
優 秀 選 手	井上 瑠衣	アイ・ディー・エフemme	関山 大介	大洋部品	
	小室 絵理	アイ・ディー・エフemme	小松 健太郎	大洋部品	
	黒田 菜都美	UNITY	佐藤 健	SPR2011	
	仲谷 紗代子	UNITY	片岡 保貴	SPR2011	
	登 晴 香	pallavolo	花房 孝行	RUBIK'S CUBE Jr	
監 督	小納谷 萌美	北海道V-spirit	吉田 侑平	RUBIK'S CUBE	
	小和田 あみ	アイ・ディー・エフemme	山田 昭人	大洋部品	
北海道クラブバレーボール連盟 ベストレフェリー賞			笹木 美穂		